

公園区計画作成状況について (中間報告その2)

令和7年度

第10回まちづくり協議会代表者交流会

宝塚市 都市安全部公園河川課

本日の次第

1 今年度の公園区計画の作成状況について

①長尾公園区の作成状況

②中山台公園区の作成状況

③宝塚公園区の作成状況

2 先行着手地区の今後の見通し

3 先行着手地区以外の公園区における今後の見通し

1 今年度の公園区計画の作成状況について

先行着手地区における取組状況

公園区名	取組状況
長尾	第1回準備会 7月28日（月）、第2回準備会 9月22日（月） アンケート実施 11月下旬頃～12月中旬 <u>ワークショップ開催 1回目：2月7日(土)、14日(土)</u> 2回目：4月下旬（予定）
中山台	第1回準備会 8月3日（日）、第2回準備会 10月11日(土) アンケート実施（11月下旬頃～12月19日(金)） 第3回準備会 2月14日(土)
宝塚	第1回準備会 8月30日（土） 第2回準備会 3月7日(土)開催予定 まちづくり協議会が地域の意見をアンケートで確認。その結果も踏まえた計画案(イメージ案)から対象公園の選定、WSの進め方等を確認

①長尾公園区の作成状況

長尾公園区におけるワークショップ準備会の概要

《第一回ワークショップ準備会》

- 開催日時：令和7年7月28日（月）
- 開催目的：地域の自治会長などに公園区計画の取組について説明するため
- 開催内容：公園区計画作成の目的及び作成方法、長尾公園区内の公園の状況の説明
- 開催結果：次回準備会に1つの公園を事例とした計画イメージ図を市から示す。
長尾公園区内の公園の維持管理費を市から示す。
上記2点を鑑みて、今後の計画作成の進め方を検討する。

《第二回ワークショップ準備会》

- 開催日時：令和7年9月22日（月）
- 開催目的：公園区計画対象公園の選定、ワークショップの進め方の決定
- 開催内容：市が作成したイメージ図の共有、市が提示する公園区計画対象公園及びワークショップの進め方についての意見聴取
- 開催結果：計画対象公園を、平井公園、山本丸橋3丁目公園、山本野里公園、中筋5丁目かいくつか公園に決定。（小学校区ごとの主要な公園）
地域ニーズの確認は、ワークショップではなくアンケート調査を行う。

アンケート調査の概要

- 回答形式：ウェブ回答
- 実施期間：11月下旬頃 ～12月19日(金) (3週間程度)
- 配布先：
 - ・ 対象公園周辺の住民（自治会から配布）
 - ・ 小中学校（支給されているタブレット送信※1）
 - ・ 幼稚園と保育園の保護者への配布
 - ・ 児童館への配架
 - ・ 対象公園（※2）等公園での掲示
 - ・ 市ホームページで公開

- 設問項目：

1. お住まいの地域のめざしたい将来像
2. 対象公園の利用状況（利用する、利用しない）
3. （利用者向け）対象公園の良いところ、改善してほしいところ
4. （非利用者向け）対象公園を利用しない理由、利用するために改善してほしいところ
5. 1を実現するための対象公園のめざすべきあり方
6. 5に向けて、対象公園で取り組むべきこと、望ましい施設、イベント等
7. 6について、回答者が参加したいこと、手伝えること、アイデア
8. 回答者の年齢層

※1 「小学生向け」と「中学生～大人向け」とで調査票を分け、小学生向けには漢字に読み仮名を付し、説明の分かりやすさに配慮。小中学校の保護者には、保護者連絡用アプリにて調査票を送付。

※2 長尾公園区では、同公園区を構成する各小学校区内で公園利用の多い拠点的公園4箇所を対象公園に設定（山本丸橋3丁目公園、山本野里公園、中筋5丁目かいつか公園、平井公園）

長尾公園区におけるワークショップ開催の概要

- 長尾公園区を構成する3つの小学校区ごとに、対象公園を1箇所定めワークショップを開催する。

※1対象公園

長尾小学校区：平井公園

長尾南小学校区：山本丸橋3丁目公園

丸橋小学校区：山本野里公園

安倉北小学校区：中筋5丁目かいつか公園

※2 安倉北小学校区は、自治会等と相談した結果アンケートのみでワークショップは令和7年度実施しない。

- ワークショップは全2回とする。第1回目を実施した。

公園区計画の構成	検討 タイミング	進め方、検討する内容
1. 地域、〇〇公園をこれからどんな場所にしたいか (目指す姿)	第1回 ワーク ショップ	・アンケート結果から市が地域や平井公園の目指す姿案を作成。ワークショップで意見を確認 (ここで出た意見を反映し、第2回目に決定します)
2. 〇〇公園の使い方・過ごし方		・地域の方のニーズ、意見確認(アンケート実施)
3. 空間・設備の方向性		・公園の整備や管理をどうすればもっと使いやすくなるか ・使いやすくするための課題、課題解決に向けてすること
4. 使い方のルールや運営の考え方	第2回 ワーク ショップ	・イベントや地域活動などみんなで協力して使うため、市や市民、まちづくり協議会などの団体の関わり方 ・気持ちよく使い続けるための使い方のルール

長尾公園区におけるワークショップ開催の概要

- 対象者：該当の小中学校区に在住の方（大人、小中学生それぞれに募集）、団体等
- 広報先：
 - ・対象公園周辺の住民への配布（自治会の回覧板、市職員によるポスティング）
 - ・まちづくり協議会内での周知
 - ・市ホームページで公開
 - ・小中学生（保護者連絡用アプリにて送付）
 - ・親子育てグループ
 - ・児童館、人権文化センター等の市の施設
 - ・アドプト団体
 - ・対象公園内での掲示
- 開催回数、スケジュール、参加人数

対象公園	第1回目	第1回 参加人数	第2回目
平井公園	2月14日(土)	5人	4月下旬
山本丸橋3丁目公園	2月14日(土)※	—	検討中
山本野里公園	2月7日(土)	8人	4月下旬

※山本丸橋3丁目公園は、申し込み人数が少なく、開催方法を見直すこととした。

第1回ワークショップ開催の流れ

(例：平井公園（長尾小学校区）、山本野里公園（丸橋小学校区）)

※ 各WSの主な意見等は
スライドp.11以降で紹介

(1) 開催準備（地域意向整理）

アンケート結果を踏まえ、地域および対象公園の「目指す姿（案）」並びに公園に関する主な意見（評価点・課題・方向性等）を市において集約・整理し、ワークショップでの検討資料として作成した。

(2) 第1回ワークショップの開催

① 地域及び対象公園の「目指す姿」の確認

事前整理した「目指す姿（案）」を提示し、旗揚げ式による賛否確認を実施するとともに、意見や修正提案を把握した。

② 目指す姿の実現に向けた検討

共有した「目指す姿」を前提に、その実現に向けた具体的取組、想定課題および対応方策についてグループワークを実施し、参加者からの意見出し、グループ内で整理・共有を行った。

③ グループ発表

各グループで検討内容を取りまとめ後、グループ発表を実施し、実現に向けた取組内容や想定課題の全体共有を図った。



旗揚げ式による賛否表明

〇〇できたらいい

取組などソフト面

〇〇があったらいい

施設などハード面

〇〇の問題がありそう

実現するうえでの課題

〇〇するとよいかも

課題解決のアイデア

付箋紙による意見出し
(グループワーク)

(3) 第1回ワークショップ後の整理

ワークショップでの議論内容および提出意見を整理し、市ホームページ等で共有するとともに、第2回ワークショップの開催に向け、市として可能な実現方策や対応の方向性について検討を進める。

【参考】第1回ワークショップでの主な意見

○地域、対象公園をこれからどんな場所にしたいか(目指す姿)

アンケート結果を踏まえ、市において事前整理した地域および対象公園の「目指す姿(案)」について、ワークショップの参加者に、旗揚げ(挙手)による、賛否の確認を実施した。そのうえで、案に対する意見・修正提案等を確認した。

【平井公園】

対象	目指す姿(案)	案に対する意見
地域	「子どもから高齢者まで安心して暮らせ、自然とにぎわいが調和した、みんなが過ごしやすいまち」	「(案)で良いと思う」：4人 「もう少しこんなことを入れた方がいい」：1人 →・ 災害時の機能 があるといい
対象公園	「遊び・交流・自然・防災がそろった地域の中心となる公園」	「(案)で良いと思う」：4人 「もう少しこんなことを入れた方がいい」：1人 →・ 高齢者も集まれる よう、使いやすくする →・ただの広い空間ではなく、 自然の要素を高める (芝生があって、そこを歩ける園路がある等) →・広い空間を活かし、 スポーツを楽しめる ところにする。 この公園ならではの特別な要素を入れる

【山本野里公園】

対象	目指す姿(案)	案に対する意見
地域	「子どもがのびのび育ちみんなで見守る安心安全なまち」	<p>「(案)で良いと思う」：8人 「もう少しこんなことを入れた方がいい」：2人 →・高齢者の視点も必要 →・アンケートの回答者が子育て層に偏っているのではないか</p>
対象公園	「安心・安全に子どもがのびのびと遊び、地域の交流が生まれる公園」	<p>「(案)で良いと思う」：1人 「もう少しこんなことを入れた方がいい」：9人 →・高齢者の視点も必要、健康づくりの場にもしたい →・公園の南側の県営住宅の住民の意見も反映した方がいい（最も利用しているはず）</p>

対象公園の使い方、過ごし方、空間、設備

グループワーク
によるご意見

前項で整理した地域および対象公園の「目指す姿」を踏まえ、その実現に向けて、対象公園で取り組むべきこと、想定される課題や対応策について、グループワークを実施。参加者からの意見出し、グループ内で共有・整理を実施した。

【平井公園】

目指す姿に向けて 対象公園で取り組むこと	具体的な内容
・ 地域による管理	・ 新興住宅地の方や若い方に 公園アドプト について周知 ・ 公園アドプトを立ち上げる際の 手続きを簡素化
・ 防犯面の強化	・ 死角になる 中低木を伐採 ・ 地域で清掃や植栽管理 。一斉清掃の際にボランティアを募り一緒に清掃 ・ 地域で管理できるよう、 公園アドプトやボランティアに権限を与えたり、管理ルール を設ける
・ 花火の禁止	・ 手持ち花火はOKという 地域ルールをつくっても管理ができない ・ 花火禁止の看板の設置 ・ 7、8月に広報、看板による強化を図る
・ スポーツができる ・ 広く使える	・ スポーツができるように整備 ・ 種目ごとにできる曜日や時間を決める ・ 樹木を整理
・ 滞在しやすくする	・ 日影、緑陰、ベンチを増やす ・ 芝生エリアをつくる（転んでも大げがせず、芝生の上で休める）
・ 地域の中心となる公園として 来やすくする ・ 安全に利用できるようにする	・ 現在あまり利用されていないスペースに 駐輪場を整備 ・ トイレを再整備 してきれいに明るくする
他公園でできたらいいこと	・ 高齢者が散歩できたり、集まれる ・ 芝生エリア

【山本野里公園】

目指す姿に向けて 対象公園で取り組むこと	具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流の場 ・地域がつながるきっかけづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも参加できるイベントを開催(餅つき、夏祭り、バザー等) ・自治会、まち協、市、イベント会社等が運営 ・イベント開催の市民でグループをつくる ・若い人やママ友の参加を促す(声かけ等)
<ul style="list-style-type: none"> ・公園をきれいに清潔に保つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民や自治会等の地域協働による日常的な清掃、コミュニティづくり ・公園アドプトをPR ・水やりの際の水道の蛇口を改善(ホースをつなげるように)
<ul style="list-style-type: none"> ・入りやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口案内板や照明を設置 ・地面の舗装の色を変える ・樹木を整理して見通しを良くする ・県営住宅からの経路を整備(周辺住民からの理解が必要) ・公園の北側の細い路地を安全に通行できるように整備
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も利用できるようにする(健康づくり等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康遊具、花壇の設置 ・ベンチを設置(10人程度の団体でも座れる)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの設置 ・イベントの備品などを置く物置を設置
<p>他公園でできたらいいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びやテニスなど ・健康遊具 ・防災設備

②中山台公園区の作成状況

中山台公園区におけるワークショップ準備会の概要

《第一回ワークショップ準備会》

- 開催日時：令和7年8月3日（日）
- 開催目的：地域の自治会長などに公園区計画の取組について説明するため
- 開催内容：公園区計画作成の目的及び作成方法、中山台公園区内の公園の状況の説明
- 開催結果：対象公園は中山中央公園、桜台公園、五月台公園、みどり公園とする。
次回準備会に中山中央公園を事例とした計画イメージ図を市から示す。
桜台公園、五月台公園、みどり公園については各自治会を中心に検討する。
上記3点を鑑みて、今後の計画作成の進め方を検討する。

《第二回ワークショップ準備会》

- 開催日時：令和7年10月11日（土）
- 開催目的：公園区計画対象公園の選定、ワークショップの進め方の決定
- 開催内容：市が作成した中山中央公園でのイメージ図の共有、ワークショップ等の進め方についての意見聴取
- 開催結果：公園に対するニーズ把握はアンケート調査で代用する。
アンケート調査の結果で今後WSを実施するか地域と市で協議する。

アンケート調査の概要

- 回答形式：ウェブ回答
- 実施期間：11月下旬頃 ～12月19日(金) (3週間程度)
- 配布先：
 - ・ 対象公園周辺の住民（自治会から配布）
 - ・ 小中学校（支給されているタブレット送信※1）
 - ・ 幼稚園と保育園の保護者への配布
 - ・ 児童館への配架
 - ・ 対象公園（※2）等公園での掲示
 - ・ 市ホームページで公開

□ 設問項目：

1. お住まいの地域のめざしたい将来像
2. 対象公園の利用状況（利用する、利用しない）
3. （利用者向け）対象公園の良いところ、改善してほしいところ
4. （非利用者向け）対象公園を利用しない理由、利用するために改善してほしいところ
5. 1を実現するための対象公園のめざすべきあり方
6. 5に向けて、対象公園で取り組むべきこと、望ましい施設、イベント等
7. 6について、回答者が参加したいこと、手伝えること、アイデア
8. 回答者の年齢層

※1 「小学生向け」と「中学生～大人向け」とで調査票を分け、小学生向けには漢字に読み仮名を付し、説明の分かりやすさに配慮。小中学校の保護者には、保護者連絡用アプリにて調査票を送付。

※2 長尾公園区では、同公園区を構成する各小学校区内で公園利用の多い拠点的公園4箇所を対象公園に設定（山本丸橋3丁目公園、山本野里公園、中筋5丁目かいつか公園、平井公園）

中山台公園区におけるワークショップ準備会の概要

《第三回ワークショップ準備会》

- 開催日時：令和8年2月14日（土）
- 開催目的：アンケート調査結果の報告と今後の進め方を確認するため
- 開催内容：アンケート調査結果の報告と今後の進め方について説明
- 開催結果：パナソニックホームズ（株）が市と連携して進める中山台ニュータウン活性化事業の中で公園区計画作成を進めることが決定
そのため、公園区計画の作成については進捗調整を図ることとした

③宝塚公園区の作成状況

宝塚公園区におけるワークショップ準備会の概要

《第一回ワークショップ準備会》

- 開催日時：令和7年8月30日（土）
- 開催目的：地域の自治会長などに公園区計画の取組について説明するため
- 開催内容：公園区計画作成の目的及び作成方法、宝塚公園区内の公園の状況の説明
- 開催結果：対象公園案や計画イメージについて市から提示する。
公園の禁止事項など前提条件を市から提示する。
上記2点を鑑みて、今後の計画作成の進め方を検討する。

《その後の進捗状況》

- ・ 11月8日（土）の定例会議で市のWS案等を周知し、まちづくり協議会が対象公園、ワークショップの内容等について地域の意見の確認
- ・ 12月中旬にまちづくり協議会がアンケートにより地域からの意見を確認したが、対象公園を決めるための具体的な計画案（イメージ案）作成の要望を受け、12月中旬から2月初旬にかけて、まちづくり協議会代表者と次回準備会の内容協議を行った。
- ・ 第2回準備会3月7日（土）開催予定。地域のアンケート結果も踏まえた計画案（イメージ案）から対象公園の選定、ワークショップの進め方等の確認

2 先行着手地区の今後の見通し

先行着手地区における今後の見通し

公園区名	今後の取り組み見通し
長尾	<ul style="list-style-type: none">・ワークショップ終了後、公園区計画を作成。市民に共有 ※安倉北小学校区についてはアンケートを行ったもののワークショップについては未開催である、長尾南小学校区、安倉北小学校区については開催時期等について検討中。・公園区計画で定められた内容については、令和9年度以降に出来るところから実現
中山台	<ul style="list-style-type: none">・市とパナソニックホームズ(株)が連携して進める「中山台ニュータウン活性化事業」において、公園区計画作成を進める・公園区計画作成についての協議は令和8年10月以降 ＜パナソニックホームズ(株) 中山台ニュータウン活性化事業のスケジュール＞ 令和8年4月～ エリアプラットホーム始動 令和8年10月頃 ビジョン策定し、活動予定
宝塚	<ul style="list-style-type: none">・3月7日(土) 第2回準備会を開催 準備会において、アンケート結果にもとづく計画案（イメージ案）を踏まえ、対象公園の選定、ワークショップの進め方等を確認する予定

3 先行着手地区以外の公園区の今後の見通し

先行着手地区以外の公園区計画作成の今後の見通し

先行着手地区では、地域との調整に時間を要しワークショップの開催が遅れました。また、地域との事前調整に半年程度必要であることがわかりました。

そのため、令和8年度は、先行着手地区の公園区計画作成が概ね落ち着いたタイミングで、次回着手地区を決定し、今後の進め方等について調整を行いながら順次進めてまいります。

令和8年度

